

みなみプラス

MINAMI
KABE
SHINBUN

発行
長崎南高校
新聞部
2020年
7月22日

号外

新型コロナ 無症状患者の多さ 感染拡大招く

長大熱帯医学研究所 山本先生に聞く



▲研究室で新型コロナウイルスについて話す山本先生

長崎南高新聞145号に掲載予定の特集記事の取材で、『感染症と文明』（岩波新書）の著者として知られる長崎大学熱帯医学研究所教授の山本太郎先生（国際保健学・熱帯感染症学）のもとを訪れて話を伺った。長崎県内でコロナウィルス感染拡大が再び進む今、その取材内容の一部を紹介する。



新型コロナウイルスの特色は何ですか

「症状が出る前から感染しているということ（感染してから症状が出るまで時間がかかる）ということ、感染していても症状が出ない人も少なくないので、感染した人が多くの人にウィルスを広めてしまい感染が止まらない。感染者を見つけにくく、とても『頭の悪い』ウィルスだと思う」。

大都市圏ではない地域、例えば石川県では300人の感染が確認されましたが、長崎県は（取材日の6月30日の時点では）17人です。長崎県は感染者が少ない方ですが、これは偶然ですか。

「偶然と必然の両方です。パリ・ニューヨーク・東京など人口が密集しグローバル化の最先端の場所は感染が

広がりやすい。大都市圏と比べて、長崎は人の往来も少ないし、感染者が少ないのは必然ともいえる。石川県の300人も大都市と比べれば少ないほう。ただし、長崎が大都市圏以外の地域の中で見ると感染者が少なかったのは偶然だと思う。今までにクラスターが発生してもおかしくはなかったし、石川県の状況と長崎県の状況が入れ替わっていてもおかしくはなかった。長崎県もこれからどうなるかわからない」。

山本先生の取材記事については長崎南高新聞の145号の特集記事で詳しくお伝えします。



▲山本先生の著書
『感染症と文明』

感染症対策の徹底を

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言は5月21日に北海道、埼玉、千葉、東京、神奈川を除く42府県で解除。5月25日に全国的に解除された。緊急事態宣言解除後も県をまたぐ移動等の自粛要請が継続されていたが、6月19日に全面解除された。

4月18日以来、長崎県内では感染者0が続いたが、取材直後の7月3日に本県18人目の感染者が確認された。その後、長崎市内で本県最初のクラスターが発生。7月21日の時点で長崎県県内の感染者数はクルーズ船を除き47人に達した。

山本先生が取材時に「長崎県内でクラスターが発生してもおかしくなかった。長崎の状況もこれからどうなるかわからない」と言われていたことが、まさに起こってしまったと感じた。これからは新型コロナウイルスに対して危機感を抱き、マスクの着用、手洗い・うがい、3密を避けるなどの感染症対策を徹底していきたい。

（西宮）

新型コロナウイルスに関するQ&A

（一般の方向け）【厚生労働省HPより】

Q「新型コロナウイルス」とは、どのようなウイルスですか。

「新型コロナウイルス（SARS-CoV2）」はコロナウイルスのひとつです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸器症候群（SARS）」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群（MERS）」ウイルスが含まれます。

ウイルスにはいくつか種類があり、コロナウイルスは遺伝情報としてRNAをもつRNAウイルスの一種（一本鎖RNAウイルス）で、粒子の一番外側に「エンベロープ」という脂質からできた二重の膜を持っています。自分自身で増えることはできませんが、粘膜などの細胞に付着して入り込んで増えることができます。

ウイルスは粘膜に入り込むことはできますが、健康な皮膚には入り込むことができません。表面に付着するだけと言われています。物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいます。ただし、物の種類によっては24時間～72時間くらい感染する力をもつと言われています。

手洗いは、たとえ流水だけであっても、ウイルスを流すことができるため有効です。石けんを使った手洗いはコロナウイルスの膜を壊すことができるので、更に有効です。手洗いの際は、指先、指の間、手首、手のしわ等に汚れが残りがちなので、これらの部位は特に念入りに洗うことが重要です。また、流水と石けんでの手洗いができない時は、手指消毒用アルコールも同様に脂肪の膜を壊すことによって感染力を失わせることができます。

Q 新型コロナウイルス感染症にはどのように感染しますか？

一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。

「飛沫感染」とは： 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

「接触感染」とは： 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。